歌劇『ホフマン物語』あらすじ

【第1幕】
19世紀、舞台はドイツニュルンベルク歌劇場近くの酒場。詩人ホフマンは、『ドン・ジョヴァンニ』に出演中のソプラノ歌手ステッラに手紙を届けようとするがリンドルフに奪われてしまう。ステッラを待ちくたびれたホフマンは親友ニクラウスとお酒を飲みながら過去の失恋話を語り始める。

【第2幕】オランピア
一人目の恋人は物理学者スパランツァーニの娘オランピア。娘は機械仕掛けの人形で、ホフマンは夜会でコッペリウスに売りつけられた不思議な眼鏡によって人形とは知らずに恋に落ちてしまう。ホフマンがオランピアと踊っていると壊れてしまい、投げ出された勢いで眼鏡が壊れ、オランピアが人形であることに気づき倒れてしまう。

【第3幕】アントニア
二人目の恋人は病弱な歌手アントニア。アントニアの父は、歌手だった母と同様に早く死んでしまうと思い歌を禁止していた。アントニアに恋するホフマンは結婚を約束する。そこに邪悪な医師ミラクル博士が現れアントニアに歌を歌うようにそそのかす。アントニアは亡き母に救いを求めると亡霊の母親が現れ母の声を聞いたアントニアは狂ったように歌い続け倒れ命がつきてしまう。

【第4幕】ジュリエッタ
三人目の恋人は高級娼婦ジュリエッタ。ジュリエッタは豪華な館に現れた魔術師ダペルトゥットの持つダイヤモンドに目を奪われる。彼はジュリエッタにダイヤモンドと引き換えにホフマンを誘惑しその「影」を盗むよう頼む。ホフマンの影を手に入れたジュリエッタは満足して去る。ホフマンはジュリエッタの部屋の鍵を手に入れるためシュレミルと決闘し手に入れた鍵を渡そうとジュリエッタを探す。

【エピローグ】
全てを語り終えたホフマン、そこへ公演を終えたステッラがやって来る。ステッラへの恋も失恋に終わったホフマンは、リンデロルフにクラインザックの歌を披露しているうちにリンデロルフはステッラと去ってしまう。酔い潰れて夢見るホフマンにミューズが現れ詩人としての才能を讃え、ホフマンは気を失う。

27日	羽山晃生	小林昭裕	鈴木香央莉	宮澤尚子	羽山弘子	鮎澤由香理	和田ひでき	東原佑弥	戸村優希	根岸一郎	紙谷弘子	平田真理子
	ホフマン	Ⅰ幕リンデロルフ Ⅱ幕コッペリウス Ⅲ幕ミラクル博士 Ⅳ幕ダペルトゥット	オランピア	アントニア	ジュリエッタ	ニクラウス	Ⅰ幕ルーテル Ⅲ幕クレスペル	Ⅰ幕ナタナエル Ⅱ幕スパランツァーニ	Ⅰ幕ヘルマン Ⅳ幕シュレミル	Ⅰ幕アンドレ Ⅱ幕コシュニーユ Ⅲ幕フランツ Ⅳ幕ピティキナッチョ	声 ミューズ	ステッラ
28日	土師雅人	村田孝高	山元三奈	菅原千恵	日隈典子	勝倉小百合	松澤佑海	津久井佳男	服部聖人	榛葉薫人	末広貴美子	細沼初美

指揮　諸遊耕史

演出　土師雅人

＜チケットお取扱い施設＞
- ティアラこうとう　03-5624-3333
- 江東区文化センター　03-3644-8111
- 亀戸文化センター　03-5626-2121
- 古石場文化センター　03-5620-0224
- 豊洲文化センター　03-3536-5061
- 東大島文化センター　03-3681-6331
- 総合区民センター　03-3637-2261
- 深川江戸資料館　03-3630-8625

問合せ：江東オペラ制作部
TEL080(5473)0403
mail:kotoopera@xvg.biglobe.ne.jp

江東区文化センターホール
東西線「東陽町駅」1番出口より徒歩5分
東京都江東区東陽4－11－3